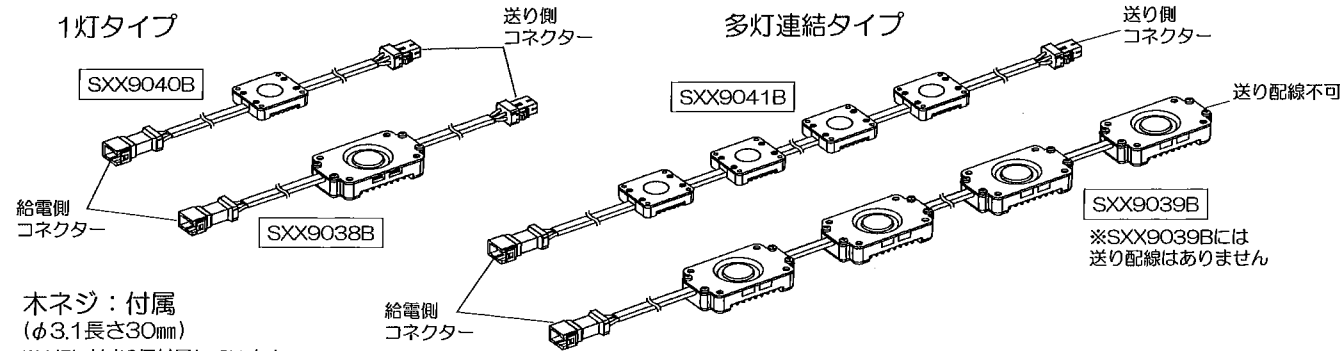


Synca Mu-Module

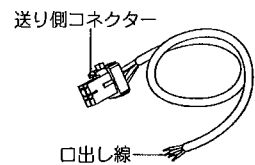
◆各部の名称



木ネジ：付属
(φ3.1長さ30mm)
※1灯に付き2個付属しています

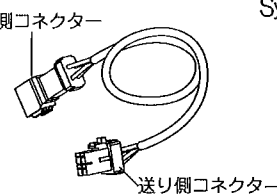


電源接続コード：別売
RB-745N (L=200mm)

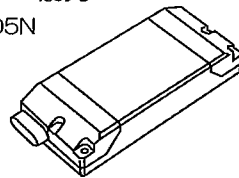


延長コード：別売

RB-746N (L=200mm)
RB-747N (L=500mm)
RB-748N (L=1000mm)
RB-749N (L=3000mm)



DC24V用無線調光
Syncaドライバー：別売
SX-105N



取扱説明書

保管用

この図は一部省略抽象した共通部品図です

雨線外では上向き照射での使用はできません。
灯体くぼみ部分に水がたまり故障の原因となります



◆仕様

【製品本体 500lmTYPE】

灯具TYPE	型番	器具長さ(L)	定格光束 (5000K時)	モジュール 入力電圧	モジュール 入力電流	モジュール 消費電力	器具質量
1灯	SXX9038B	522mm	453lm	DC24V	238mA	5.7W	0.2kg
多灯連結：12灯	SXX9039B	1233mm	5436lm	DC24V	2850mA	68.4W	1.3kg

【製品本体 100lmTYPE】

灯具TYPE	型番	器具長さ(L)	定格光束 (5000K時)	モジュール 入力電圧	モジュール 入力電流	モジュール 消費電力	器具質量
1灯	SXX9040B	485mm	113lm	DC24V	54mA	1.3W	0.1kg
多灯連結：13灯	SXX9041B	1295mm	1469lm	DC24V	704mA	16.9W	0.6kg

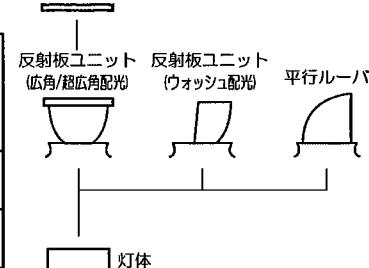
【多灯連結TYPEの長さ調整について】

※多灯連結TYPEは途中の電線部分でカットすることが可能です。
切断した電線は確実に絶縁処理を行ってください。
屋外で使用する場合は防水処理を行ってください。

【OPTION】

OPTION	反射板ユニット		スプレッドレンズ ※反射板ユニットと 組合わせて使用	反射板ユニット ウオッシュ配光	平行ルーバ ※他オプションと 組合わせ不可
	広角配光	超広角配光			
500mmTYPE	RB-795S	RB-794S	RB-805C	RB-798S	RB-802B
100mmTYPE	RB-797S	RB-796S	RB-806C	RB-799S	RB-803B

スプレッドレンズ



◆適合別置電源ユニット 最大接続可能設定値

【500lmTYPE】

適合別置 電源 ユニット (別売)	適合 Synca ドライバー	入力電圧	定格出力	電源 許容電力	最大接続可能台数						
					器具種類	モジュール 電力	直列接続時			並列接続時	
							器具最大 接続台数	灯数	2次側ケーブル 総配線長 ※1	器具最大 接続台数	灯数
RX-326N	SX-105N	AC100V	DC24V 0.9A 20W	16W	1灯タイプ	5.7W	2	2	50m	2	2
					多灯タイプ	68.4W	使用不可	-	-	使用不可	-
RX-406NC	SX-105N	AC100V ~242V	DC24V 2.5A 60W	48W	1灯タイプ	5.7W	8	8	14m	8	8
					多灯タイプ	68.4W	使用不可	-	-	使用不可	-
RX-405NC	SX-105N	AC100V ~242V	DC24V 3.75A	72W	1灯タイプ	5.7W	11	11	5m	12	12
					多灯タイプ	68.4W	1	1	12m	1	12

【100lmTYPE】

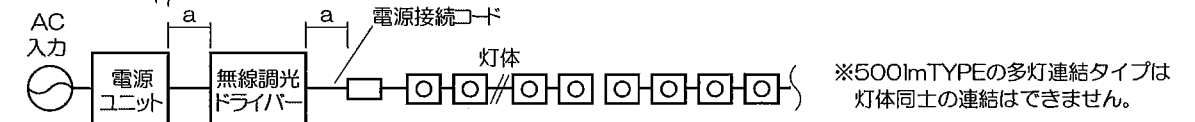
適合別置 電源 ユニット (別売)	適合 Synca ドライバー	入力電圧	定格出力	電源 許容電力	最大接続可能台数						
					器具種類	モジュール 電力	直列接続時			並列接続時	
							器具最大 接続台数	灯数	2次側ケーブル 総配線長 ※1	器具最大 接続台数	灯数
RX-326N	SX-105N	AC100V	DC24V 0.9A 20W	16W	1灯タイプ	1.3W	12	12	50m	12	12
					多灯タイプ	16.9W	使用不可	-	-	使用不可	-
RX-406NC	SX-105N	AC100V ~242V	DC24V 2.5A 60W	48W	1灯タイプ	1.3W	26	26	5m	36	36
					多灯タイプ	16.9W	2	26	26m	2	26
RX-405NC	SX-105N	AC100V ~242V	DC24V 3.75A	72W	1灯タイプ	1.3W	26	26	5m	55	55
					多灯タイプ	16.9W	4	52	8m	4	52

システム構成図



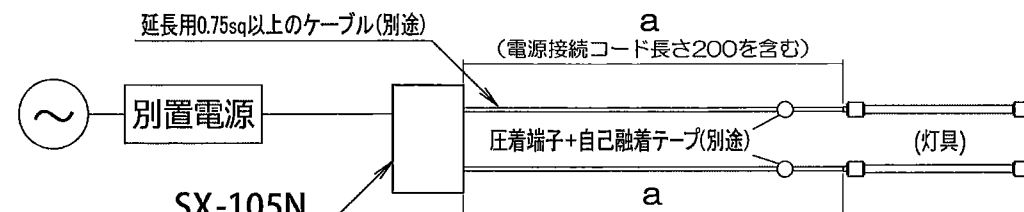
●電源ユニットから無線調光ドライバーもしくは無線調光ドライバーから灯体までの間を延長する場合、別途0.75sq以上のケーブルと圧着端子+自己融着テープをご用意ください。

※1
2次側ケーブル総配線長は電圧降下を考慮したケーブル長さです。
電源ユニットから末端の灯体までに追加したケーブル長さです。
灯体に備わるケーブルは含まれません。
途中で回路が分岐する場合は回路ごとに計算を行ってください。



◆接続方法

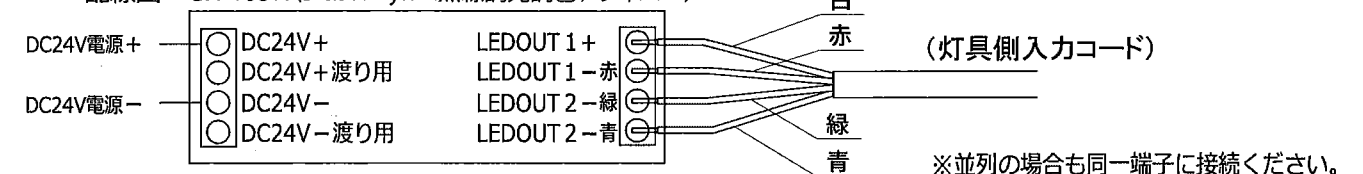
(別置電源のON/OFFは壁スイッチ、またはブレーカーを取り付けてください)



SX-105N
(無線制御)

※SX-105Nは屋内専用です。
※屋外で使用する場合は樹脂製の配線BOX等に入れてください。

配線図 SX-105N (DC24V Synca無線調光調色ドライバー)



・Smart LEDZ FitシステムまたはSmart LEDZ Fit Plusシステムの専用機器です。
その他調光システム(旧Smart LEDZシステムを含む)では使用できません。

◆取付方法

1. 安全確保のため、電源ブレーカーおよび、電源スイッチを遮断してください。

⚠ 感電の原因となります。

2. 器具重量に耐えるよう、取付面の強度を確保してください。

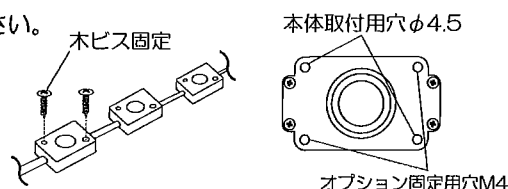
⚠ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下・破損の原因となります。

3. 本体を取付けてください。

本体の取付け用穴に木ネジを使用して固定してください。

⚠ 取付ネジを締め付けすぎた場合、部材破損の原因となります。

※オプション固定用穴に木ビスを取付け無いように注意してください。オプションが後付けできなくなります。



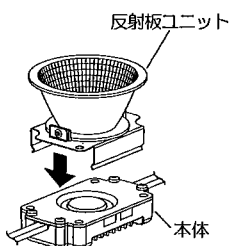
◆オプションの取付け方法

施工前に本体に対してオプションを取付けてください。

<反射板ユニット、平行ルーバ>

1. 反射板ユニット、平行ルーバーのパネを本体のくぼみに合わせて上部からはめてください。
※片側ずつはめていくと容易に取付きます。

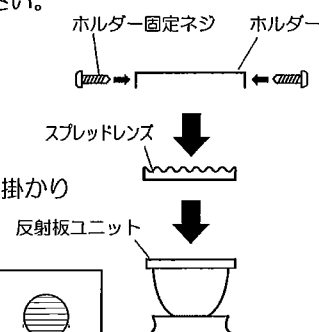
2. 屋外やオプションが落下すると危険が生じる場所に取りつける場合は、オプション固定用ネジ(付属)で固定してください。



1. 左記の通り反射板ユニット(広角配光、超広角配光)をとりつけてください。

2. スプレッドレンズホルダーとオプション反射板でスプレッドレンズを挟んでください。

3. ホルダー固定ネジ3本(付属)を最後まで締めてください。
オプション反射板にネジが引っ掛かり落下固定されます。

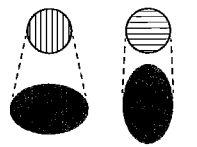


<スプレッドレンズ>

※反射板ユニット(広角配光、超広角配光)と組合せてください。

※反射板ユニット(ウォッシュ配光)とは組合せできません。

スプレッドレンズの筋と垂直方向に光が伸びます。
取付方向にご注意下さい。



◆施工に関する注意

・配線長により電圧降下が起こりますので、2次側ケーブル総配線長以内に接続してください。

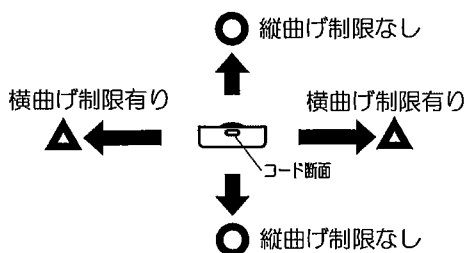
・LEDは周囲環境によっては、十分な照度確保は困難です。

照射面距離が近い場合や照射面によって、光のムラが気になる場合があります。

気になる場合は照射面から離して取り付けてください。

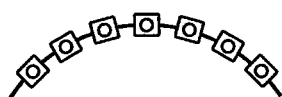
・器具およびケーブルは、埋込施工などをせず、器具交換が可能な施工をしてください。

【曲げ方向について】



【最小曲げ寸法】

横曲げ
・最小曲げR=500



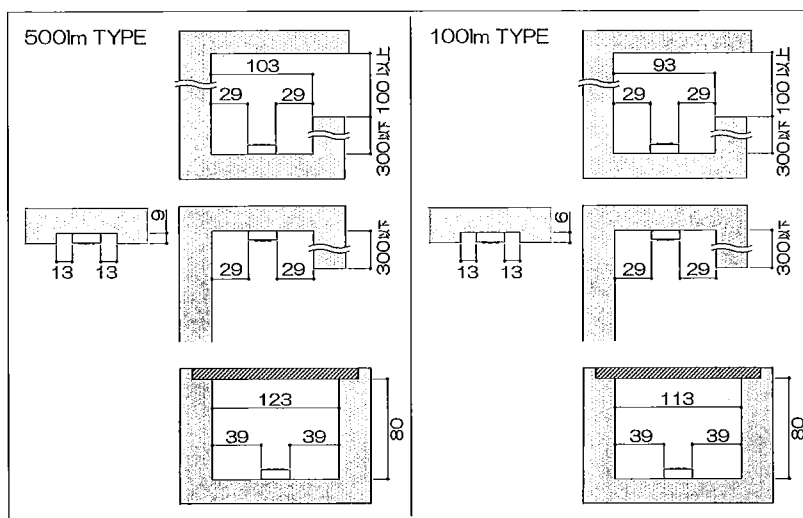
※器具を曲げる場合は半径500mm以上にしてください。

※最小曲げR以下に曲げないでください。
故障、感電、火災の原因となります。

※適合電源ユニット(別売)とは100mm以上離してください。

※器具同士を重ねたり、束ねたり、ねじって使用しないでください。発熱により故障の原因となります。

【最小施工寸法】※取付けおよび熱的な仕様を考慮した寸法です。



⚠ 火災・感電・器具故障・破損の原因となります。

⚠ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

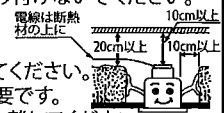
◎一部の製品を除き、器具の設置施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店にご相談ください。
工事店様へ、この説明書は保守の為お客様にかならずお渡しください。

安全に関する

警告

- 器具は定格電圧±6%以内で使ってください。
→範囲外の電圧を加えると発熱し、火災の原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切って器具が十分に冷めてから行ってください。
→感電・やけどの原因となります。
- 器具の改造、部品の交換をしないでください。
→火災・落下・感電の原因となります。
- 万一、煙が出たり、異臭がするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電気工事店にご相談ください。
→そのまま使用すると感電・火災の原因となります。
- 器具に燃えやすい物(布や紙など)を乗せたり近づけたりしないでください。
→火災の原因となります。
- 器具は設置環境を確認の上で使ってください。
→浴室などの湿気が多い場所、海岸隣接地帯、粉塵の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、塩素を使用している屋内プール、オイルミスト(油飛沫)、振動や衝撃の多い場所など)器具仕様と異なる環境に設置すると、不点・器具破損・感電・火災・腐食の原因となります。
- 器具に指定された取付け方向、点灯方向を守ってください。
→火災・落下・感電の原因となります。
- 埋設器具は、車両などの荷重がかかる場所、及び人の往来が多い場所、人が足で器具を踏むおそれのある場所では使用しないでください。
→器具破損により、漏電・感電の原因となります。

- 器具取付面の凹凸が大きい場合はパッキンと取付面のすき間をコーキング剤で埋めてください。
→器具内に水が入ると火災・感電の原因となります。
- 冠水する恐れのある場所、くぼ地などの水が溜まる場所には設置しないでください。
→浸水による火災・感電の原因となります。
- 草や木の近くに器具を設置する場合は、除草剤や肥料がかからないようにしてください。万一器具に除草剤や肥料がかかってしまった場合、水で洗い流してください。
→除草剤や肥料で器具が腐食し、浸水による感電・不点の原因となります。
- 設置場所には必ず排水処理工事を行ってください。
- ケーブル工事は電気技術設備基準などに準じ施工してください。
- 壁内および器具の背面から水がかかる場所へは取り付けしないでください。
→火災・感電の原因となります。
- 断熱施工方法は次のように行ってください。
・電気配線は断熱材・防音材の上側にくるようにしてください。
・断熱材・防音材の上部は最低20cmの空間が必要です。
・器具から断熱材・防音材までの距離を10cm以上離してください。
・断熱材・防音材で器具の放熱穴などをふさがないでください。
→火災・感電の原因となります。



安全に関する

注意

- 器具周囲温度は35℃以上では使用しないでください。
施工時の一時的な点灯確認以外は日中点灯はしないでください。
→指定外で使になると、火災・短寿命の原因となります。
- 積雪地域で使の場合は、積雪期間、雪に埋もれないよう除雪してください。
→器具破損の原因となります。

- ガラスグローブ、前面ガラスを取り付ける際、パッキン部分に付着したホコリ・砂・石などの異物を完全に取除いてください。
→異物が残っている場合、水の浸入により絶縁不良が生じる恐れがあります。

ご使用上の注意

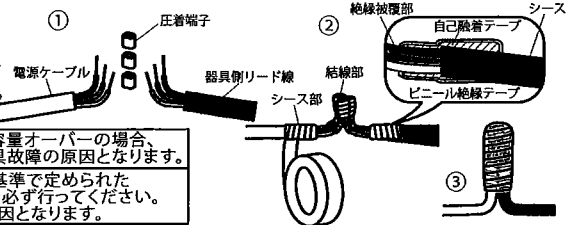
- 器具が破損・傷がついたまま長期間で使になりますと錆が流れ出る場合があります。→定期的に点検・補修してください。
- 昼夜の温度差によりガラス内側に結露が生じる場合がありますが異常ではありません。→点灯すれば解消しますのであらかじめご了承ください。
- ラジオ・ワイヤレス方式の機器は、なるべく器具から離してご使用ください。雑音が入る恐れがあります。
- ゴムパッキン等の消耗品は定期的に点検し、傷んでいる場合は速やかに交換してください。
- LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバツツキがあるため、発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- 無線制御調光システムの通信距離は設置環境により異なる場合がありますのでご了承ください。
詳細は当社無線制御システム、適合灯具の仕様図、取扱説明書をご確認ください。
- 製品は予告無く仕様を変更することがあります。

◇口出し線器具 電源結線時の注意事項

電源ケーブルと器具側リード線を結線し、結線部及びシース部を自己融着テープなどで確実に防水・絶縁処理を行ってください。結線部、シース部に直接水がかかると、水分が電源リード線内を伝わる毛细管現象により器具内部に水が侵入する恐れがあります。
※結線部に直接水がかからないよう防水BOX内での施工をお願い申し上げます。

- 同時にアース線はD種接地工事を行ってください。
- シース部とケーブル絶縁被覆部両方を自己融着テープなどで防水処理を行ってください。
- 自己融着テープ処理後、ビニール絶縁テープで結線部をまとめて巻いてください。

- ⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。
- ⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。



点検・交換について

◇寿命について

- 器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
*使用条件は周囲温度30℃以下、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合、電源スイッチON/OFFの回数が多い場合は寿命が短くなります。

◇点検・交換について

- 安全にご使用頂くために、1年に1回は「安全チェックシート」により、自主点検をしてください。
(「安全チェックシート」は(一社)日本照明工業会のホームページ <http://www.jlma.or.jp/index.htm> をご覧ください)
- 点検を行うために設置場所、設置方法には十分考慮頂いたうえでご使用お願い致します。
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などにいたる恐れがあります。

保証について

◇保証について

- 照明器具の保証期間は、製品お買上げの日(お引渡し日)より3年間です。3年以降の2年間は同品(同等品)を無償提供させていただきます。
LEDランプに関しては製品お買上げ日(お引渡し日)より5年間は同品(同等品)を無償提供させていただきます。
無償提供品に関しては、取り付け・取替えなどの交換費用は含まれません。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とさせていただきます。

◇補修用性能部品(電気部品)について

- 弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。
- 補修用性能部品には、同等性能を有する代替え品を含みます。

お手入れ・清掃方法(△必ず電源を切って行ってください。感電の原因になります。)

◇器具の清掃について

- 器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布などで、水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- ベンジン、シンナー、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質・強度低下による破損の原因となります。